

まずは
あなたの
できることから

問い合わせの多い分別ベスト6

～正しいごみ出しお作法(Q&A)～

ルールを守ってごみを出す、ごみの減量を心がけるだけで、
ごみを焼却するときに出されるCO₂が減り、ゼロカーボンにつながります。
「環境にやさしいまち」を目指して一緒に取り組んでいきましょう。



Q ボトルタイプの缶のフタ(キャップ)は、
どうして「かん類」ではなく
「もえないごみ」なの?

A 缶のフタには密封のための樹脂
素材やプラスチックがついており、
リサイクルの妨げになるからです。
また、もしフタも同じ袋で出してしまうと、
缶の中に煙草の吸殻や飲み残し
を入れたままフタをして、分からないよう
に袋に入れる人もおられるかもしれません。
それを防ぐ意味でも、缶のフタは分けて
もえないごみで出してください。



缶のフタは分けて
もえないごみで
出してください。

Q 飲み物や醤油が入っているような
容器は全てペットボトル?

A 違います! 「ペットボトルの識別表
示マーク」がついているものだけ
がペットボトルです。必ず容器ラベル部
分の表示を確認して出しましょう。

形や材質が似ていても、
洗剤やシャンプーのボトルは
プラスチック製ですので
注意してください。



Q 傘は袋からはみ出るから
「粗大ごみ」?

A 傘は、はみ出ても「もえないごみ」
で出してください。
市では、指定ごみ袋からはみ出るもの
は「粗大ごみ」としていますが、傘は例
外です。柄の部分が袋からはみ出ても、
もえないごみの袋でお出しただけ
です。

他のごみが
散らばらないよう、
しっかり4点結びを
しましょう。



Q バッテリーや電池の
処分方法が分からない。

A 繰り返し使用できる電池(小型
充電式電池)は、家電量販店等
の回収協力店に設置されている回収
ボックスに入れてください。自動車やパ
イクに搭載されているバッテリーの処分
は、専門店に相談しましょう。破裂・火
災の原因になるため、ごみ袋には入れ
ないでください。
乾電池は、市役所や自治公民館に設
置している「乾電池回収ボックス」に
入れてください。

袋から出して、
そのまま入れてください。
乾電池の
絶縁処置は不要です。



「ごみ分別ハンドブック」の7P

Q テレビや冷蔵庫は「粗大ごみ」?

A 「家電4品目」に該当するため、粗
大ごみとして収集できません。
①エアコン、②テレビ、③冷蔵庫・冷凍
庫、④洗濯機・衣類乾燥機は、家電リサイ
クルの対象です。リサイクル料金を支払っ
て適切にリサイクルする必要があります。
製品を購入した販売店には引き取りの
義務があります。まずは販売店に相談し
てみましょう。購入した販売店が分か
らない場合やその他の方法で処分した
い場合は、「ごみ分別ハンドブック」をご
覧ください。



「ごみ分別ハンドブック」の8P

Q スプレー缶を出す時は、
ガス抜きのために
穴をあけたほうがいいのか?

A 穴は開けなくても良いですが、必
ず中身を使い切ってください。
ガスが入った状態で穴をあけてしま
うと、火災や破裂する恐れがあります。使
用後は、スプレー缶についての「ガス
抜きキャップ」の使用法を確認して安
全にガスを抜きましょう。

どうしても
中身を使い切れない場合や、
ガスを抜くことができない場合は、
環境課にご連絡ください。



家庭ごみの詳しい分別方法を
「ごみ分別ハンドブック」をご覧ください。



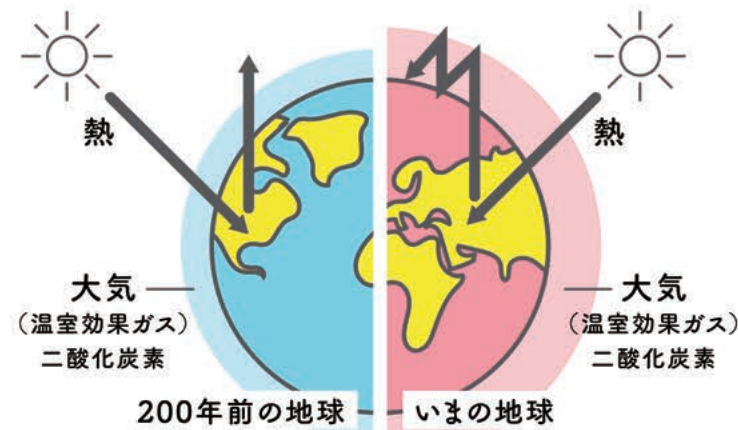
武雄町・橘町・朝日町・若木町
武内町・東川登町・西川登町



北方町
山内町

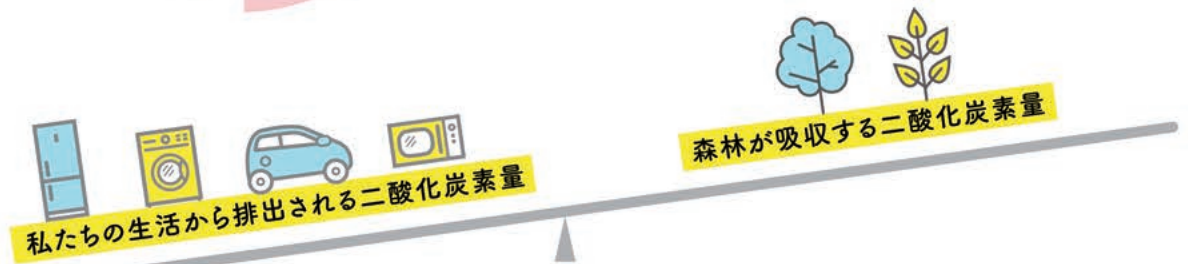


いま、私たちが住んでいる地球は…



地球温暖化とは?

温室効果ガスは、地球の温度を保つために本来なくてはならないものであり、一定の温室効果ガスが存在することにより、地球を適度な温度に保っています。産業革命以前、人間は、牛・馬・風・水力など自然エネルギーを使って暮らし、豊かな森林が二酸化炭素を吸収することで地球全体が適温に保たれていました。革命後、石油などの化石燃料を大量に使用したことによる温室効果ガスの急増、土地開発による森林伐採で多くの森林が失われ、地球の温度が上昇しています。



二酸化炭素が増え、地球温暖化が進むと…

- 食物が育たない
- 自然災害 (異常気象によるもの)
- 干ばつ
- 動植物の絶滅
- 感染症のリスク

だから、取り組む。

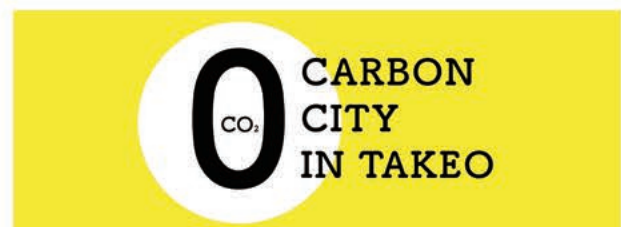
「ゼロカーボンシティinたけお」ゼロカーボンとは?



私たちが排出する二酸化炭素量と、森林が吸収する二酸化炭素量をプラスマイナスゼロにすることです。地球の平均気温上昇を抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする必要があるといわれています。

※再エネ…太陽光、風力、地熱などの再生可能エネルギー

現在の取り組み



市は、2020年3月に
「2050年ゼロカーボンシティinたけお」を表明しました。
6月には、市内の各種団体・企業の代表者からなる
市民会議を立ち上げました。
皆さまからいただいたアンケートを分析し、
参考にしながらゼロカーボン実行計画の策定を行います。